

かがみだけ  
**鏡岳神社**

地元では「初瀬(はぜ)のごんげんさん」と親しみを込めて呼ばれている。  
300段以上もある石段を男女が一度も振り返らずに頂上まで行けたならば、  
二人は永遠の愛を誓えるという。  
この神社の一の鳥居の前は、昔は海で、石段は海の中まで続いていたらしい。

こしま  
**小島神社**

潮が干くと歩いて渡れる鳥居。  
例祭日には大神楽が奉納され、干潮時に島に渡り次の干潮まで島で神さまと  
一緒に過ごし帰る。

つきよみ  
**月讀神社**

天照大神の弟？妹？イザナギの尊(みこと)の右の目から産まれたという月の  
光の神。68段の石段を登ると・・・、神秘的な異空間。目には見えない力を  
感じることができる。  
人の一生のリズム、月の満ち欠けのパワーで運氣が上がる。

おんたけ  
**男岳神社**

TVでも紹介された磁石の針がぶれる石あり。  
昔から神罰の厳しい神社といわれ、この山の樹木は1本たりとも持ち帰るこ  
とは許されない山。それゆえ、ご利益は大きい。また、多数の石猿が奉納されて  
おり、不漁を去る、不作を去る、病を去ると、悪いものを取り去ってくれる。

めんたけ  
**女岳神社**

TVで磁石の針がくるんとまわった！  
女男岳の池をはさんで、男岳山の向かい側にあり、赤い歩道を歩いて神社に  
向かう途中に巨石あり・・・人生が180°開転！！「巢喰石(すくいし)」と  
呼ばれ、これこそパワーアップの石、どこからこの石が来たのかと思いたくなる  
不思議な巨石。この救いの石に、見て！、触れて！体感してみる価値あり。

たながひめ  
**手長比売神社**

昔々、本宮八幡の神さまと、手長比売の神さまは礫(つぶて)をして神社の領  
域を競ったという。  
その石が今も神社横の田んぼの中にあり、「神さまのあそび石」として大切に  
守られている。

## カンカン石

車が無かった頃、歩いて旅をする人々はここで小石をひろい大きな石を叩いて  
カンカンといわせ再び旅を続けたという。  
この石は旅人の足を軽くするといわれる。

鏡岳神社・・・石段を300段以上登る。(一の鳥居横 WCあり)

小島神社・・・干潮時のみ渡れる。歩き。(WCなし)

月讀神社・・・68段の石段。(WCあり)

男岳神社・・・階段ならば200段以上歩き。自家用車、小型バスまでは展望台側の駐車場まで登れる。(WCあり)

女岳神社・・・女男岳ダム横の遊歩道を登る。(WCなし)

手長比売神社・・・道路すぐ下にあり。

カンカン石・・・路線バス「大浦口バス停」すぐそば